

「2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」のポイント

～これからの学習活動を支えるICT機器等と設置の考え方～ (2017年12月26日策定)

第2期教育振興基本計画(2012～2017年)における目標

ICT機器	整備対象(教室等)	対象学校種
○電子黒板	普通教室 (H29.3現在 24.4%)	全学校種
○実物投影機(書画カメラ)	普通教室	
○教育用コンピュータ	3.6人/台 (H29.3現在 5.9人/台)	
○学習用ツール	教育用コンピュータの台数分	
○無線LAN	普通教室 (H29.3現在 29.6%)	
○校務用コンピュータ	教員1人1台	
○超高速インターネット接続	学校	
○ICT支援員	配置	

これからの学習活動を支えるICT環境(2018年～)

ICT機器	整備対象(教室等)	対象学校種
○ 大型提示装置	普通教室 + 特別教室	全学校種
○実物投影装置	普通教室 + 特別教室	小学校・特別支援
○ 学習者用コンピュータ	3クラスに1クラス分程度	全学校種
○ 指導者用コンピュータ	授業を担当する教員1人1台	
○学習用ツール	学習者及び指導者用コンピュータの台数分	
○無線LAN	普通教室 + 特別教室	
○校務用コンピュータ	教員1人1台	
○超高速インターネット接続	学校	
○ICT支援員	配置	

①学習者用コンピュータ

➡ 現行の**3.6人/台**から**3クラスに1クラス分程度に変更**【授業展開に応じて必要な時に「1人1台環境」を可能とする環境の実現】(1日1コマ分程度を当面の目安とする)

②電子黒板

➡ 「**大型提示装置**」に名称変更(スペックの見直し)
 ※①提示機能、②インタラクティブ機能のうち、「**大きく映す**」という①の提示機能を必須とした上で、実際の学習活動を想定し、配備を進めることが適当。

※「全学校種」とは、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校のことをいう。

新規追加事項

○ 学習者用コンピュータ(予備用)	故障・不具合に備えた複数の予備機の配備	全学校種
○ 充電保管庫	学習者用コンピュータの充電・保管用	
○ 有線LAN	コンピュータ教室、職員室及び保健室等への有線LAN環境の整備	
○ 学習用サーバ	学校ごとに1台	
○ ソフトウェア	・統合型校務支援システムの整備 ・セキュリティソフトの整備	
○ 校務用サーバ	学校の設置者(教育委員会)ごとに1台の整備	